

# 水の郷 ニュース

## 総合保健福祉センター

水の郷、水の郷くらぶ

☎ 75-6200、FAX75-6210  
まほろばやまと ☎ 76-4833  
サンブリッジ ☎ 73-6955

**開館時間** 午前9時～午後9時  
※温泉は午前10時～午後8時  
30分で、入場は午後8時まで。  
図書館分室は午前10時～午後  
6時。すこやかルームは午前  
10時～午後9時  
**11月の休館日** 5日、11日、  
18日、23日～25日



11月の水の郷シネマ  
はじまりのみち

映画監督、木下恵介の実話を元にした、母と子の真実の愛の物語

◆日時 9日(土)、午前10時30分、午後1時30分、午後7時の3回

◆料金 前売り800円、当日1000円

## 水の郷エントランスホールイベント

### 第1日曜日は市民吹奏楽団がミニコンサート



市民吹奏楽団は、ミニコンサートを毎月1回水の郷1階のエントランスホールで開催しています。毎回、白秋作詞の童謡からクラシック、ポップスなど、さまざまなジャンルの曲をアンサンブルでお届け。見学は無料。楽団の熱のこもった演奏をぜひご堪能ください。

◆日時 毎月第1日曜日(11月は白秋祭出演のため、11月10日)、午後1時～

## 柳川温泉「南風」イベント

日本舞踊 泉徳弓社中「秋のおどり」

◆日時 11月2日(土)、午後1時～

◆料金 観覧無料(ただし温泉入場料は必要)

## 11月のホールイベント

◆柳川みのり幼稚園「40周年記念講演会・コンサート」 22日(金)、午後1時30分～、見学無料

## 「水の郷」 「まほろばやまと」 臨時休館

水の郷は、管内設備の保守点検などのため、11月23日(土・祝)から25日(月)まで休館します。

また、「まほろばやまと」は、浴室改修工事のため、11月5日(火)から30日(土)まで休館します。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

## 助産師による乳幼児教育講演会

### いのちの授業

市は、助産師の寺田恵子さんを講師に招き、「産み、育てたいと思えるまちづくり」をテーマに講演会を開催します。

◆日時 11月26日(火)、午前10時～(受付は30分前)

◆会場 水の郷2階視聴覚室  
◆参加費 無料、託児あり(要申し込み)

申し込み、問い合わせは、市生涯学習課生涯学習係(☎77・8834)まで。

## 新着図書

### はなねこちゃん

竹下 文子 さく・いしいつとむ え (小峰書店)



はなちゃんが画用紙に描いたネコ、はなねこちゃん。外へ遊びに行ったはなちゃんに、大事なひげを描いてもらうため、絵の中から抜け出して、はなねこちゃんが街中を冒険します。

「てにをは」からやりなおす **日本語レッスン** 町田 健 著 (技術評論社)



「てにをは」は1文字の短い言葉ですが、日本語の正しさと分かりやすさを決めるととても大切な言葉です。この本では、いろいろなレベルの問題を掲載し、「てにをは」の正しい使い方を解説します。

### 書き出し「世界文学全集」

柴田 元幸 編・訳 (河出書房新社)



誰もが一度は耳にしたことがある、日本や英米の有名文学作品の書き出しだけを紹介。収録された73作品は、すべて編者が新たに翻訳したもの。世界の名作の書き出しを一気に読んでみませんか。

本は貸出予約ができます

## 読書の秋は図書館へ



市立図書館で本の貸出予約ができることを知っていますか。借りたい本が貸し出し中の場合、「予約カード」を図書館の窓口に提出するか、市公式サイトから予約することができます。また同館では、利用者の要望に応じて、本を購入したり、市外の図書館から借りたりしています。図書館で本を借りて、秋の夜長を楽しく過ごしてみませんか。

◆貸出予約 据え置き期間は1週間。漫画本は1人5点まで。CDなどの視聴覚資料は1人1点まで

◆貸出期間 本は15日以内で冊数制限なし。雑誌は最新号以外、8日以内で冊数制限なし。CDなどの視聴覚資料は8日以内で1人3点まで

## 11月の無料映画会

11月9日(土)、午前11時～＝名画劇場「今朝の秋」(90分)、午後3時～＝子ども映画「アニメおしりかじり虫」(49分)

# 図書館 ニュース

本館 ☎ 74-4111、FAX74-4946

三橋図書館 ☎ 74-6300

雲龍図書館 ☎ 76-1122

両開分館 ☎ 74-4116

昭代分館 ☎ 74-5111

蒲池分館 ☎ 74-6200

水の郷分室 ☎ 75-6204

**開館時間** 午前10時～午後6時

※平日の火～金曜日は本館のみ午後8時まで開館。三橋図書館は金曜日のみ午後8時まで開館

**11月の休館日** 月曜日(三橋図書館は火曜日)

※水の郷分室は4日(月・振休)開室、5日(火)閉室

※28日(木)は資料整理のため全館休館

## おはなし会(小学生以下)

▶本館＝毎週土曜(第4土曜は赤ちゃんおはなし会)、午後2時30分～▶三橋図書館＝第2、4土曜、午後3時～▶雲龍図書館＝第2土曜、午前10時30分～▶両開分館＝第2土曜、午前11時～▶昭代分館＝第1、3土曜、午前11時～▶蒲池分館＝第2、4土曜、午前11時～

## 柳川百選まち歩き

第55回

市民の皆さんが大切にしたいもの、誇れるものを応募のなかから「柳川百選」として選びました。このコーナーでは、シリーズで紹介していきます。郷土の素晴らしさを再発見しませんか。

## 白秋詩碑苑

＝矢留本町＝



詩聖北原白秋の母校、矢留小学校の近くにある白秋詩碑苑では、11月2日の白秋祭式典や1月25日の白秋生誕祭など、白秋ゆかりの行事が行われます。

苑内にあるひとさわ大きな「婦去来の詩碑」は、市内の文学碑の中で最も古く、昭和23年に建てられたものです。

詩碑建設の中心となったのは、現在の下宮永町生まれで、第9回芥川賞作家の長谷健です。長谷は、昭和22年に自らが会長を務める柳川文化クラブを母体に、白秋門下の文学関係者などで北原白秋詩碑建設委員会を発足。自ら委員長となり、詩碑の設計や石材探し、募金活動などを行いました。

詩碑に使われている巨大な石は、昔から石材の産地として知られた長崎県帆崎村(現同県諫早市小長井町)から有明海を渡って運ばれたものです。詩碑建設の工事責任者だった故江口政喜さんの長



詩碑の建設に尽力した芥川賞作家の長谷健

男で、長崎まで同行した弘一さん(蟹町・82歳)によると、石材探しの一行が、帆崎村の船着き場から採石場までの細い道の傍らに、埋まっている大きな石を2、3個発見。これを掘り出してみると、その中の1つが格好のよい巨石だったため、この石に決まったそうです。

終戦間もない当時は、重機などはなく、巨石の移送はとても困難なものでした。江口さんによると、石の下に「修羅」と呼ばれる丈夫な木の板を敷き、その下に丸太を並べて少しずつ引いたそうです。

最後に江口さんは、「当時帆崎村で中心となって協力された中島さん宅を平成5年に訪ねると、長谷さんからの感謝状がありました。私の父も感謝状をいただいていたので、2つ並べて記念写真を撮りました。白秋詩碑苑の詩碑は、地元はもちろん、県外からもたくさんの方があつて完成したことを多くの人に知ってほしい」と思いを語りました。



長崎の中島さん(前列右)と江口(後列左)さんたち。2つの感謝状は長谷から贈られたもの



「柳川百選」は市企画課で配布。市公式サイトでもダウンロード可。問い合わせは、同課(☎77・8423)へ。